

製品安全データシート (MSDS)

① 製品および会社情報

2017.10.1改定

製品名	木守り専科 FIRE Protect 防災強化下塗り剤FPベース
会社名	株式会社 シオン
住所	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-8-1
電話番号	019-677-7060
FAX番号	019-637-3190
担当部門・担当者	製造開発室 藤田 悠

製品名		木守り専科 FIRE Protect 防災強化下塗り剤FPベース	
② 要約 危険有害性の	GHS ラベル要素		不燃性の液体 多量に摂取すると腹痛、嘔吐、下痢等を起こす
	予 防 対 応 保 管 廃 棄		保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用すること 火災時には一般的な注水処理を行う 涼しく風通しのところに保管する 関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄する
③ 組成・成分情報	単一製品、混合物の区別：混合物		
	成分：水、ホウ酸系粉末		
本品には以下の18物質は含まれておりません。 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、フタル酸ジ・n・ブチル、スチレン、クロロピリホス、ノナナール、テトラデカン、アセトアルデヒド、フタル酸ジ・2・エチル、ヘキシル、ダイアジノン、フェノブカルブ、フタル酸エステル、リン酸エステル、有機リン			
ホルムアルデヒド放散等級区分 告示対象外			
官報公示整理番号・CAS番号・国連分類及び国連番号・PRTR法・化審法番号・労安法通知物質：該当なし			
④ 応急処置	吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせ安静を保つ。症状が改善されない場合は、医師の手当てを受ける。	
	皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使い良く落とす。外観に変化が見られたり、痛みが発生した場合は、医師の手当てを受ける。	
	眼に入った場合	清潔な水で最低15分間洗浄する。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよくいきわたるように洗眼する。症状が改善されない場合は、医師の手当てを受ける。	
	飲み込んだ場合	水または食塩水でよく口の中を洗浄する。異物感が残ったり、具合が悪くなった場合は、医師の手当てを受ける。	
⑤ の措置 火災時	消 化 方 法	一般的な注水処理を行う。	

⑥ の措置 漏出時	環境に対する注意事項 少量流出時 多量流出時	河川や下水に排出しないように注意する。 紙、布（ウェス）等に吸収させて回収する。 バケツ、ヒシャク等で汲み取り、容器等に移した後、そのあと多量の水を用いて洗い流す。
⑦ 上注意 取扱・保管	取扱上の注意 保管上の注意	吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。容器はしっかりと密閉して、換気良好な冷暗所に保管する。 0℃以下になると凍結する恐れがあるため、冬場凍結の恐れがある所では保管しないこと。
⑧ 措置 止及び保護 暴露防	管理濃度 許容濃度 設備対策	設定されていない 設定されていない 不要
⑨ 物理的及び化学的性質	外観等 物理的形態変化 引火点 自然発火点 発火性 蒸発速度 爆発特性 酸化特性 比重 n-オクタノール ／水分配係数 分解温度 粘度	形状：常温で液体 色：無色透明 匂い：なし 沸点：103℃ 融点・凝固点：データなし 該当なし 該当なし 該当なし 水とほぼ同じ 該当なし 該当なし 1.1 (20℃) Log Pow=-1.28 (20℃) 該当なし 4.5mPa・s (20℃)
反応性 性及び安定性	⑩ 安定性 安全性 反応性	通常の仕様において安定である。 不燃性であり、危険性はない。
⑪ 有害性情報 ※1	急性毒性 皮膚刺激性 眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性	経口：急性経口毒性なし（ラット） 経皮：急性経皮毒性なし（ラット） 吸入：急性吸入毒性なし（ラット） 皮膚刺激性なし 刺激性なし データなし 皮膚感作性なし 陰性 国際的機関で発がん性と評価された事例はない 生殖毒性なし
⑫ 環境影響情報	生体毒性 残留性／分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 水生環境有害性	製品としての情報なし 製品としての情報なし 製品としての情報なし 製品としての情報なし 水質汚濁防止法の有害物質（水質汚濁防止法2条第二項第一号）に含まれる。 一律排水基準の健康項目で有害物質に含まれる・排水許容制度 海水以外：10mg/L 海域：230mg/L

<p>⑬ 上の注意 廃棄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄する。 ・家庭ごみとは一緒に処分しないこと。 ・下水には流さないこと。
<p>⑭ 上の注意 輸送</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・容器を転倒させたり、落下したり、衝撃を加えたり、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。（内容物漏洩防止） ・その他、法令に定めるところに従う。
<p>⑮ 適用法令</p>	<p>労働安全衛生法 施工例第18条の2 名称を通知すべき有害物（政令第544号） 化学物質管理促進法 第1種指定化学物質（政令405号） ／ P R T R 法 化学物質審査規制法 1-69（四ホウ酸に準ずる）</p> <p>そ の 他 建築基準法改正の規制を受けない。</p>
<p>⑯ その他</p>	<p>参考資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 製品安全データシート作成資料 JIS Z 7250 2. 原材料の製品データシート（各原料メーカー） 3. 化学大辞典 共立出版社（1963）

※ 1 人についての症例、疫学的情報を含む。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しており、情報の正確さや安全性を保証するものではありません。取り扱いには最新の注意が必要で、ご使用者各位の責任において安全にご使用ください。本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。